

〔体験記〕 レモネードスタンドを やってみました！

愛知県立豊田西高等学校JRC部



“When life gives you lemons, make lemonade!”（人生からレモンをもらったら、レモネードを作りましょう。）

これは高校1年生の時に、*Genius English Communication I*の授業で学んだ“Alex’s Lemonade Stand”の中で、小児がんと闘うAlexが大好きだった言葉です。8歳という若さで人生を終えたAlexですが、彼女が始めたがん研究のための募金活動「レモネードスタンド」は、彼女の意志を継いで今もまだ生き続けています。

豊田西高校JRC部も2年間に渡って文化部発表会でレモネードスタンドを開催し、レモネードを配布しながら募金への協力を呼びかけました。1年目は先輩方に頼ってばかりだったので、2年目に僕たちだけで準備をするのは新鮮でやりがいもありましたが、とても大変でした。レモネードスタンドジャパン事務局へレモン原液とパンフレットの提供を依頼したり、当日の役割分担を考えたたり、試作会をしたり、砂糖・水・紙コップ・サーバー等の必要物品の準備を進め、足りない物品



は他の部に貸してもらったりしました。値段は設定せず、募金者の気持ちに任せた金額を募金してもらうことにしました。また、多くの人に訪問してもらえよう、全クラスに宣伝活動をして回りました。当日は予想以上に

多くの先生方や生徒が訪れてくれ、引退した先輩方も手伝いにきてくれました。汗だくになりながら一生懸命レモネードを作り続けると、用意していた約550杯は瞬く間に配布し終え、募金合計金額は2万円に達していました。みんなの「困っている人の助けになりたい」という温かい気持ちが伝わってきて、この活動を企画して本当によかったと感じました。その後、集まった募金はレモネードスタンドジャパン事務局に全額寄付しました。この寄付は小児がん研究や子どもたちのウィッグの購入資金等に活用されると聞きました。

今までのJRC部は自分たちで企画立案した活動をしたことがなく、生徒会主催の募金活動や社会福祉協議会が企画したボランティアに参加するだけでした。しかし、今回は自分たちで一から作り上げ、準備・開催する貴重な経験となりました。この活動に協力してくれた方々に感謝しています。さらに、一高校生に過ぎない僕たちが世の中で苦しんでいる子どもたちの助けに少しでもなれたと思えることがとても嬉しいです。

この活動を通して、ボランティア活動の意義を再認識するとともに、自ら行動することの大切さも学ぶことができました。このような貴重な経験をサポートしてくださったレモネードスタンドジャパン事務局の方を始め、僕たちの活動のきっかけを与えてくれた*Genius*教科書にも感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、レモネードスタンドが世界中にさらに広がり、小児がんと闘っている子どもたちの支援が充実したものになることを願ってやみません。